

合併の効果があるのか



平田 昇議員

平田 昇議員 宮之城に本庁を置く。二町の役場は支所にし、支所長・次長、それに名称を少し変えて各課を置く。結局、一町の各課に、三人ずつ課長がいることになる。薩摩町では、本格的な庁舎を建設中で、約六〇人の職員が居残るといふ。この組織が機能するのか。また、相手町の要望を容れて、水道料金等を統一する。町民の負担を軽くすることは大事だが、それには七千万円近い金が必要なのだ。財政に余裕がなく、福祉も後退させているとき、一体どこを金を削るのか。合併とは何か。これで、行財政運

営ができるのか。

適正な運営をする

北村町長 本来は、本庁方式なのだが、当面は住民の利便を考えて、総合支所方式をとる。

行財政運営には、各町に違いがあり、調整・統一が難しい。今後、新町を視野に入れ、均衡した適正な運営をする。

なぜ、桜を

切ったのか

平田議員 工事により、二つの墓地の桜が伐採された。残念がる人が多い。皆に親しまれている桜を、なぜ切ったのか。

利用者からの

要望も

町長 散る花や落ち葉の掃除が大変なうえ、台風

による倒木も心配との声に応えた。

こんな考えの人もある

平田議員 傷んでもいない商店街の歩道をやり直すのは、税の無駄遣いだとの厳しい声が届いた。目の不自由な方への、県がする工事だと説明して

も、なぜ初めに、それを読みとれなかったのかと厳しい。税に対するこの感覚に感服した。これこそ、地方分権の基本ではないのか。

正しい指摘である

町長 工事として、すぐ掘り起こす水道工事で、

よく指摘される。コスト意識を持って、これから取り上げるべき課題である。

子供たちを見守る

平田議員 昔は、いけないことをする子を見たら、他人の子でも大声で叱るものだった。今は、よその子が何をしても「我、関知せず」の世相になっている。これではいけない。皆が申し合わせて、地域の子供たちの成長を、しっかりと見守る。この運動を起こせないか。子供がしっかりと育つ町、子供がしっかりと学力をつける町。これでこそ、学園都市ではないか。

町民の心身の

健康を願う

町長 学園都市は、全町民の心身の健康を願う求める構想である。男女共同参画社会の形で、みんなが進む努力をする。



建設中の薩摩町役場新庁舎